

化学療法投与計画書《XELOX療法》

実施日	
-----	--

患者番号	性別	身長	cm	指示医
カナ氏名	生年月日	体重	kg	
患者氏名	年齢	体表面積	m ²	

Rp) オキサリプラチン(エルプラット) 130 mg/m² 点滴静注 day 1 3週毎
 ゼローダ ※用量は下記参照 内服(1日2回) day 1(夕)~15(朝)

※ゼローダ用量:体表面積に応じて調整
 [1日2回服用]
 1.36m²未満 1,200mg(4T)/body /回
 1.36m²以上1.66m²未満 1,500mg(5T)/body /回
 1.66m²以上1.96m²未満 1,800mg(6T)/body /回
 1.96m²以上 2,100mg(7T)/body /回

レジメンコメント1
レジメンコメント2

本管①
生理食塩液 100mL 1 瓶

★ゼローダ投与に伴う手足症候群予防対策
 〈初回投与時より開始〉
 ノイロビタン錠 2T 2×内服(休薬期間も継続)
 保湿クリーム 塗布 (1日5回以上頻回使用)

側管①		
15分		
パロフセトロン点滴静注	1	袋
バッグ0.75mg 50mL	4	管
デカドロン注射液1.65mg 0.5mL		

側管②		
120分		
大塚糖液5% 250mL 1 袋		
オキサリプラチン		mg
〈腫〉オキサリプラチン点滴静注液100mg「NK」:		
〈腫〉オキサリプラチン点滴静注液50mg「NK」:		

＜注意すべき副作用＞

- 過敏症 ●食欲不振、吐き気 ●手足のしびれ
- 口内炎 ●下痢 ●手足症候群
- 色素沈着 ●脱毛(頭髪、まつ毛、眉毛など)
- 白血球減少 ●赤血球減少(貧血)

＜実施時の注意＞

漏出時:直ちに投与を中止し、薬剤を吸引、洗浄し、ステロイドの局注、ステロイドの外用剤で対処する。
 オキサリプラチン投与時は寒冷刺激により末梢神経障害が誘発されるため患部の冷却は避ける。
 アルミニウムとの接触により分解するため調製時あるいは投与時にアルミニウムが用いられている機器(注射針等)は使用しないこと。

＜用量規制因子＞

投与開始前に好中球数1500/mm³以上、血小板数75000/mm³以上、非血液毒性Grade1以下もしくは投与前のGrade
 Grade3以上の血液毒性もしくはGrade2以上の非血液毒性を認めた場合、休薬する。Grade1以下に回復後、減量・中止基準に従って投与を再開する。
 オキサリプラチン:130mg/m²→100mg/m²→85mg/m²
 ゼローダ:2000mg/m²/日→1500mg/m²/日→1000mg/m²/日